



畿央大学後援会だより

発行：畿央大学後援会
2018年9月1日
第20号



ご挨拶

畿央大学後援会 会長
岡崎 亜矢子

会員の皆様におかれましては、日頃より後援会の活動につきましてご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。

このたび、新しく後援会会長を仰せつかりました岡崎です。

最近は見覚ましく情報化が進んでいき、生活は便利に物質的に豊かになっていますが、コミュニケーションの貧しさや教養不足から、「人間としての生きていく力」をつける必要性が高まっています。

「人間としての生きていく力」としてはまず、知的能力が必要です。大学生活の時期においては、社会の中での自己の役割や在り方を認識し、より高いものを目指していくことを意識した知的訓練を行うことが重要です。大学はこうした知的訓練の中核を占めるものであり、学生には、学ぶ意識を高く持ち、主体的にこの訓練に取り組む姿勢が求められます。

さらに、教養を身につけることも必要です。教養は、大学のカリキュラムの中だけでは身につけることはできません。部活動やサークル活動などを通じて協調性や指導力などの資質を磨くこと、各種のメディアや情報を正しく用いて現実を理解する力を身に付けること、国内外でのボランティア活動、インターンシップなどの職業体験、更には、留学や長期旅行などを通じて、自己と社会とのかかわりについて考えを深めることも教養を培う上で重要であります。

こうして、社会や異文化の中で進んで様々な体験をし、自己や人生について考え、自分の生き方を切り開く力を身につけることが重要であり、そのための機会を充実する必要があります。

保護者代表として、こうした活動のお手伝いを通じて、後援会の役員の皆様方と共に、学生の皆様が充実した大学生活が送られるよう努めてまいりたいと考えております。

また、家庭との連絡を密にして、会員相互の親睦を図るなどの環境づくりも進めてまいりたいと考えております。

今後とも、後援会活動への皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

ご挨拶

学校法人冬木学園 理事長
畿央大学 学長
冬木 正彦



後援会の皆様には、本学の教育研究活動に対し大きなご支援とご協力をいただいていることを心よりお礼申し上げます。

本学は資格取得や就職に強い大学として関西では評価が定着していますが、資格取得や就職指導だけを重視しているわけではありません。学生一人ひとりの人生にとって大学時代は極めて大切な期間です。大学時代には、物事を深く考えることができる時間と、幅広い知識、文化や歴史を含め地球上の人類の活動の広がりを知ることができる機会があります。

深く考えること、知識の幅を広げること、これらは授業で与えられる当面の問題の解答にはつながりません。深く考えることは、なぜかという疑問を持ち、自分自身が分かることにこだわり、そして疑問を持ち続け考え続けることです。深く考えることにより、理解が深まります。理解が深まると、「これは何なのか」ということを人に説明できるようになります。一方、好奇心を大切にし、楽しむことにより知識は広がります。専門知識以外のことに関心を持つことが豊かな教養につながり、社会で活躍する際に人との絆を得ることができます。

深く考えること、知識を広げること、高校までのような効率的に問題が解けることが目的になっている受け身の学びの延長にはありません。

いままで当然と思っていた学ぶ姿勢を大学での学びに変えることは容易ではありません。この転換をなるべく早い時期に始められるように本学の各学科ではカリキュラムや授業方法の工夫を行っています。そして、私ども教職員は学生一人ひとりに真剣に向きあい支援することで、学ぶ姿勢の転換を促し、学生の自立を後押ししています。

後援会からご支援をいただいております各種の助成は学生の学びへの動機を高めることに、そして環境整備へのご支援は綺麗で快適に学べる教育環境維持にとって不可欠のものです。後援会の皆様には衷心よりお礼を申し上げますとともに引き続きご支援をお願い申し上げます。

CONTENTS	ご挨拶.....	P 1	・	2
	後援会総会.....	P 3		
	アンケートへのご協力ありがとうございました.....	P 3	・	4
	学科のページ			
	健康科学部 理学療法学科.....	P 5		
	看護医療学科.....	P 6		

健康科学部 健康栄養学科.....	P 7
人間環境デザイン学科.....	P 8
教育学部 現代教育学科.....	P 9
担任からのメッセージ.....	P10~14
クラブ・サークル活動.....	P15
第16回畿央祭・授業日カレンダー.....	P16

● 畿央祭 (10/20・21) 参加会員に補助が出ます

畿央祭が10月20日(土)21日(日)の2日間にわたって開催されます。学生の実行委員会が4月から本格的にたちあがり、すでに着々と準備を進めています(関連記事16頁)。その様子は、本学ホームページでご覧いただけます。

後援会では、畿央祭に参加された会員の皆さまに金券1,000円を補助しています。9月末ごろに詳しい畿央祭案内チラシ等とあわせて当日の引換券を送付します。畿央祭に参加され、日ごろとはまた違った学生の一面を発見されることも多いようです。皆さまのご参加をお待ちしております。



魅力ある授業

健康科学部長
健康科学研究科長

植田 政嗣

畿央大学の教育に対し、後援会会員の皆様からは日頃より深いご理解と多大なご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

大学の講義において、1回90分間の授業を効果的に演出するには、教員の入念な準備と授業中の表現力が重要であることは言うまでもありません。かつては教員が情熱を持って話すことや書くことを受講者が必死で書きとめたものですが、最近はビデオプロジェクター、パワーポイントなどさまざまな視聴覚メディア機器が使われます。これらは限られた時間内に多くの情報を効率的に伝達するには非常に有効ですが、ともすれば一方的になり、学生に理解し消化するための時間的余裕を与えないまま、授業だけが先に進んでしまう場合があります。そのためか、時々スライドを撮影したり講義を録音する学生がいます。気にしない教員も多いかと思いますが、著作権に関係する場合もあるため、前もって教員の了解を得るなど、学生側にも一定のマナーと節度を守って頂く必要があります。また、教員側もスライドのハンドアウトを配布する、重要事項はメモ書きするよう促すなどして、学生の理解や自宅での復習に便宜を図るよう配慮することも重要かと思えます。学生からの質問事項は、個別に電子メールでやり取りするのも良い方法でしょう。

最新の電子機器を駆使して魅力ある授業を行うためには、厳しい規則が設けられて行動の自由が制限されてしまうのではなく、教員と学生が互いに良識ある大人同士として接し、授業の進め方や電子メディアの活用法について双方向に疎通性を保ちながら学習効果をあげる事が、何よりも大切であると感じております。どうか今後とも会員各位のご理解とご協力を切にお願いいたします。

かつらぎの道

教育学部長
教育学研究科長

前平 泰志



後援会の皆様には、日ごろから温かいご協力とご支援をいただき誠にありがとうございます。

本学は住宅地の中心に立地しています。初めて訪れた人は驚かれることも多いようです。都市に隣接することで利便性を謳う大学が多いことを思えば、無理からぬことかもしれない。大学までの通学路の距離は少し長くなりました。とはいえ、それは悪いことばかりではなさそうです。

近鉄電車の五位堂駅を降りたって畿央大学に向かう際に、普段学生たちが通う本来の通学路とは違うもうひとつのコースがあるのをご存知でしょうか。その名も「かつらぎの道」と言います。歩行者と自転車しか通らない専用道路で、ケヤキ並木の道をゆっくりと上がっていくと、小鳥のさえずり、新緑の芽吹き、木々の紅葉と落葉など、季節の変化が楽しめます。ぜひ、大学に御用のあるとき、時間に余裕のあるときには、一度歩いてみていただきたいと思えます。

学生諸君は少しでも早く大学にたどり着きたいと思う気持ちからなのでしょうが、あまり利用しません。車の通る幹線道路を利用することが通例のようです。とはいえ、ときどき、一人、あるいは二人連れだって、このかつらぎの道を一緒に歩いたり、すれ違ったりすることがあると何となく嬉しくなってきます。

通学路を大学（目的＝ゴール）にたどり着くための手段という考えを捨てて、歩くことの楽しさ、喜びを感じてもらえることを伝えることはなかなか難しいことです。利便性や効率性などで物事の判断が決められる傾向のある現代ですが、ときには回り道をすることも必要であり、それこそが教育や学習の背後にあるのだということをおかつらぎの道を歩くたびに感じています。

■ 建学の精神

徳をのぼす

豊かな人間性、コミュニケーション力と
思いやりの心を身につける

知をみがく

科学的認識に支えられた
知性とたゆまぬ探究心を培う

美をつくる

豊かな感受性を持ち
創造する力を磨く

■ 畿央大学の歩み

- 2003年 4月 畿央大学健康科学部 開学
- 2006年 4月 教育学部現代教育学科 開設
- 2007年 4月 大学院健康科学研究科 修士課程 開設
- 2008年 4月 健康科学部看護医療学科 開設
- 2009年 4月 大学院健康科学研究科 博士後期課程 開設
- 2011年 4月 大学院健康科学研究科に看護学分野 開講
- 2012年 4月 助産学専攻科 開設
- 2014年 4月 大学院教育学研究科 修士課程 開設

後援会総会を開催、 後援会事業計画などを採択

畿央大学後援会の総会を8月4日に開催しました。

総会では、後援会役員会にて検討された議案について審議を行いました。まず、平成29年度の事業報告および決算報告を行い、その後に監査報告をうけ、採決を行い29年度事業と決算は承認されました。

次に、平成30年度事業計画、予算案が審議されました。平成30年度事業計画は、基本的に平成29年度事業を踏襲しています。29年度より始めた家計急変奨学金と学生チャレンジ事業は継続して実施することが提案されました。家計急変奨学金は、家計急変時に奨学金を支給するもので、学費を負担している父母もしくは保証人様が死亡もしくは重度後遺障害を生じた場合に支給されます（詳しくは学生支援センターで要

項を確認してください)。また、学生チャレンジ事業奨学金は学生が自ら企画立案する新たな目標に向かった活動に対して支援する奨学金で、後援会の審査を経て選考されます。

他の事業予算では、卒業パーティの実施形態を変更するために卒業関連費を増額することや第2キャンパスの施設の充実のための予算計上、また海外での学修を希望する学生の支援を積極的に行うための予算計上等、今年度事業の特徴が説明され、それらの事業に関



する予算案が提案、審議の後、事業計画・予算案は承認されました。

役員の改選では、役員会で推薦された会長をはじめとする16名の役員と3名の顧問が承認されました。本年度の後援会役員は別表のとおりです。会員の皆様のご協力を得ながら活動を進めていきたいと思っております。

※保護者アンケートでは役員の選出についてもご質問をいただいております。後援会役員に興味・ご関心のおありの方は畿央大学学生支援センターまで遠慮なくお問い合わせください。

平成30年度 畿央大学後援会役員

役職	役員氏名	学生の所属等
会長	岡崎 亜矢子	現代教育学科2回生
副会長	新 昌弘	人間環境デザイン学科2回生
副会長	横田 和美	現代教育学科1回生
会計	荒木 聡子	現代教育学科4回生
会計	小松 美佐	学生支援センター職員
書記	豊田 崇晴	看護医療学科1回生
書記	山本 泰	学生支援センター職員
委員	高下 一志	理学療法学科3回生
委員	福本 ゆみ	現代教育学科3回生
委員	青山 英一	現代教育学科3回生
委員	泉岡 美亜	看護医療学科2回生
委員	奥村 紀一	現代教育学科2回生
委員	兒島 強	現代教育学科1回生
委員	安井 哲也	看護医療学科1回生
監事	濱中 誠	現代教育学科4回生
監事	清水 久美	健康栄養学科1回生
顧問	冬木 正彦	学長
顧問	植田 政嗣	健康科学部 学部長
顧問	前平 泰志	教育学部 学部長



畿央大学後援会とは

畿央大学後援会は、畿央大学の学生の父母または保証人をもって構成される団体です。学生の教育や厚生に必要な施設設備の充実、研究活動やクラブ活動などに必要な援助を行うことによって子どもたちの学生生活の充実と畿央大学の発展に貢献することを目的としています。また、会員相互の連携をすすめるとともに大学と父母または保証人をつなぐ役割を担って、保護者懇談会や広報の取り組みをすすめます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

今年度も保護者アンケートを実施させていただきました。お忙しい中ご協力いただきました保護者の皆様には心より御礼申し上げます。今年度のアンケート結果の特徴と、皆様からお寄せいただいた質問で多かったものをまとめさせていただきます。

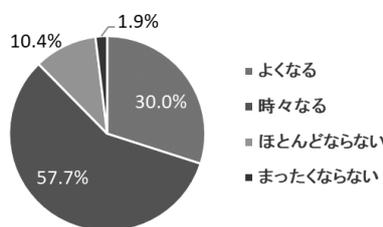
「畿央大学のことが家庭で話題になりますか」という設問に対して、「よく話題になる」「時々話題になる」と回答された方は、昨年とほぼ同様の結果となり、87.7%に達しました。

続いて、「学生は畿央大学での生活に充実

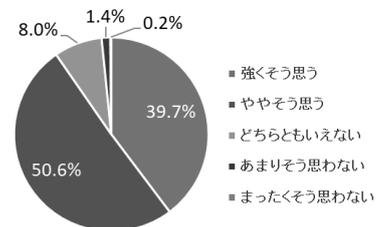
感を持っていると思いますか」という設問について「強くそう思う」「ややそう思う」

と回答された方は、90.3%という結果となりました。昨年も89.6%と非常に高い充実

畿央大学について、家庭で話題になるか？



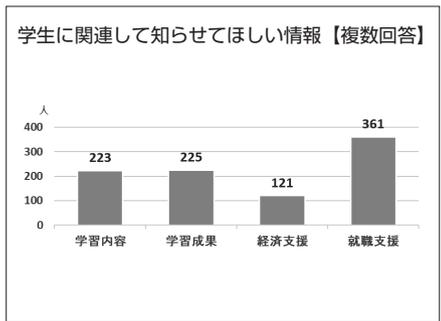
畿央大学での生活に充実感を持っているか？



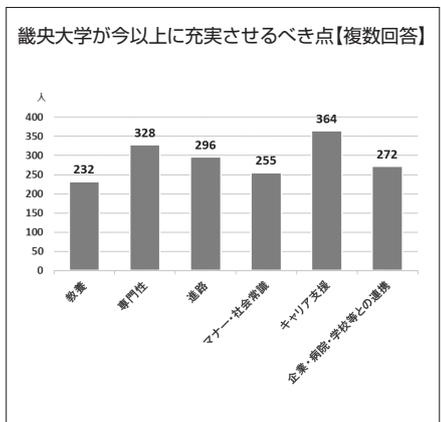
感を得ておりましたが、その割合がわずかですがさらに増加している傾向がみられました。

これらの結果は、学生とご家庭そして大学との関係が非常に良好であることを示していると思われる。学生の夢の実現をサポートしていくために一層良い関係を深められるよう努めて参ります。

次に保護者の皆様から畿央大学に寄せられる期待やご要望について一部ご紹介致します。「学生に関連して知らせてほしい情報(複数回答)」について伺ったところ、就職支援に関する情報を求められる声が多く見受けられました。



続いて、「畿央大学が今以上に充実させるべき点(複数回答)」について伺ったところ、キャリア支援や教養・社会常識の教育について更なる充実を求められていることがわかりました。



これらのデータから多数の保護者の皆様からキャリア支援に関する情報を求められ、学生サポートの一層の充実を希望されていることが顕著に示されました。

畿央大学では、このような保護者の皆様から頂戴致しましたお声を真摯に捉え、より良い大学運営を目指し、日々の学生サポートに取り組んで参る所存です。

保護者の皆様におかれましては引き続き本学の教育活動に対しご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以下、保護者の皆様からの質問事項とその回答について、一部ご紹介致します。

Q 就職率が非常に高いですが、皆正社員

として採用されているのか？

A 2017年度(2018年3月)卒業生全体の就職率は96.0%となっております。就職率の算出方法ですが、卒業生数から進学希望者を除いた学生数を分母としています。全員の進路保証をめざし、本学では就職率100%を目指しております。

就職した学生の正規・非正規の割合については、学科によって差はありますが、基本的に正規で採用されております。中には、ご家庭やご自身の事情など、また、講師として非正規で就職する場合があります。

Q 最終的には就職が気になるのであり、本人、保護者に状況をより細やかに発信して頂きたいです。

A 春と秋の年2回「保護者プレス」を発行し、保護者様宛に送付させていただいております。就職のスケジュールや行事予定、就職実績、内定をした学生の声等、各種の情報を掲載しています。また、学園祭では、保護者の方を対象とした「企業就職説明会」「教員採用試験説明会」を行っています。ぜひご参加ください。進路や就職についてご相談の際はキャリアセンターまでご連絡いただきますようよろしくお願い申し上げます。

Q 一部の学生だとは思いますが、通学のマナー(道にひろがって歩く)が良くない学生がいるので、注意してほしい。

A 前期授業の開講前におこなわれる学生生活オリエンテーション時に交通マナーについて説明しております。道路交通法の改正や新制度が施行される際などは、全学生にその内容を周知しており、また、1回生に対しては警察などの協力も得て、交通安全講座を設けております。

しかしながら、近隣の住民の方からの苦情を頂戴することがあり、その都度説明や注意喚起を行っておりますが、ご家庭でも交通安全や通学マナーのご指導をお願いしますと幸いです。

Q 実習の為に授業を欠席するのに公欠にならないと言っていましたが本当ですか？

A 全て学科において実習参加により履修中の授業に参加できない場合は公欠の対象となります。しかし、実習日までに公欠申請の手続きを学生支援センターにて行って頂く必要があります。詳細に関しましては、学生ハンドブック(HPに掲載)の44ページから46ページをご参照願います。

Q 大学でおこなわれたサマーフェスティバルに行きました。学生たちの発表、司会・進行、舞台設備、思った以上によくできていました。残念だったのが、お客の入りが少ないこと。集客できるよ

うに学校からのサポートができないかと思いました。

A サマーフェスティバルの集客については、学生団体である実行委員会が担当しており、学内での掲示等で周知を行っております。今年度からは、学内ポータルサイトより全学生対象に情報発信を行っておりますが、今後更に効果的な告知方法について学生団体と検討して参ります。

Q 五位堂駅から大学までの距離があるので、できることならスクールバスを出していただきたいです。

A スクールバス運行については、重要な課題として継続的に検討しておりますが、大型バスの乗降場所の確保、一時に集中する輸送力の確保等、多くの課題があり、現在のところ解決に至っていません。一方で、少しでも改善を図るために、路線バスを運行する奈良交通様と継続的に協議を行っております。その成果として、授業時間にあわせた運行本数の増便の依頼に対し、今回のダイヤ改正において8時台に増便していただくことができました。今後も、様々な方法を検討して通学の利便性を高める工夫を行ってまいりたいと思っておりますので、ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

Q 在学中に成人になるにあたり、飲酒・喫煙についてルールやマナーを知る機会があればありがたいです。

A 授業の開講前におこなわれる学生生活オリエンテーションでは、学生生活を送る上でのルール・マナー、アルコールハラスメントについての説明を行っています。また、学生生活上のマナーやトラブル対策についてまとめた小冊子の配布や、地域の方から寄せられたマナーに関するご意見を全学生に配信し、ルールやマナーの啓発・注意喚起を行っております。

Q 卒業生や進路先の方々と交流をする機会はないのですか？

A 本学では、1回生から順次、キャリア形成に関する科目、専門科目の一部、キャリアセンターの講座などで、卒業生や病院、企業、学校などの現職の方に来ていただき、現場の状況について詳しくお話し頂く機会を多数設けています。また、実習を経験した上回生との交流ができる授業や機会を設けるなどの取り組みも進めています。これらは学生の重要な学びの機会となっておりますので、今後もより一層充実を図っていきます。



メッセージ

健康科学部
理学療法学科
学科長
庄本 康治



保護者の皆さまには日頃より理学療法学科の運営・教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

4回生は、4月から大学での講義はなく、総合臨床実習に参加していました。総合臨

床実習1期目は4月9日～5月30日、2期目が6月4日～7月25日です。近畿圏内の実習施設が最も多いのですが、関東、四国、九州などの遠隔施設もあります。今年度の実習施設は、大学病院12、リハビリテーション専門病院23、一般病院110、小児専門施設2施設でした。

さて、総合臨床実習の到達目標は、「代表的な疾患・障がい呈する患者さんに対して、基本的な理学療法を指導下で実施できること」です。この目標に到達するために、複数名の指導者が学生1名を担当するのが一般的ですが、畿央大学卒の指導者が担当する場合も多いです。前述した代表的な疾患には、整形外科での手術後、脳梗塞・脳出血、パーキンソン病、心臓外科手術後、

脳性麻痺、呼吸器疾患などです。学生が担当する症例数は1名から多くて2、3名までであり、担当症例への理学療法実施以外は、他の症例見学、理学療法の補助などを実施します。担当症例の日々の状態と、調べた情報を記録し、指導者に提出、指導を受けることが日課です。また、学生は、情意面（態度、積極性など）、知識、技術の3分野で評価されますが、最終的な可否判断は大学で決定します。

実習では感動する場面も多く、苦しいながらも楽しかったと報告している学生が大半です。実習での経験、知識をベースにして、今後の自分の進路が少しずつ明確になっていくと予想していますし、教員一同もサポートしたいと考えています。

「海外インターンシップ in 台湾」

理学療法学科では、平成28年度から3回生を対象に「海外インターンシップ」を開講しています。国際的な視野拡大や語学能力向上などの目標に加えて、海外での理学療法の実情を学び、海外の学生や理学療法士と交流を深める機会をもつことで、将来グローバルな理学療法士を目指すことを目的とした取り組みです。3年目となる今年度は、15名の学生が参加します。9月6日

(木)～12日(水)の日程で、台湾の国立台湾大学と附属病院(台北)、中国医薬大学と附属病院(台中)を、教員4名とともに訪問します。

台湾では、両大学の教員および畿央大学の教員から英語で講義を受けたり、英語でのプレゼンテーションや台湾の高齢者の方に対して運動指導も行う予定です。このため、前期には「台湾について」の講義を通して台湾の歴史や日本との関係を学んだり、「畿央大学の特色」や「日本の理学療法・文化」などのトピックスを調べてまとめ、英語でプレゼンテーションできるよう準備をしています。また、英語での発表練習として、週1回昼休みの時間を利用し、英語で自己紹介をすることも行っています。さ



フランスの理学療法士学生との話し合い

らに今年度は、海外から理学療法学科の先生や学生さんをお招きし、英語で講義をしていただいたり、アイスブレイクで交流する機会を増やすことで、リスニング力も身につけています。

学生が国際的な視野で、日本国内だけでなく海外の理学療法に関心を持つことができ、将来、世界の理学療法士と交流を持ちながら成長し続けることができるような「海外インターンシップ」となるよう取り組んでいきたいと考えています。



タイの理学療法士による講演

TASK(健康支援学生チーム)活動レポートvol.59～ 広陵町「いのちを守るイベント」に参加

平成30年7月8日(日)、TASK*が広陵町さわやかホールで行われた、「いのちを守るイベント」にボランティアとしてお邪魔させていただきました！

内容は、親子体力測定です。

測定内容は、握力、足趾握力、片足立ちテスト、立ち幅跳び(子供のみ)、ロコモ度テストとして立ち上がりテストと2ステップテスト(大人のみ)です。

今回は対象年齢を4歳以上とし、小さなお子さんから高齢者の方々まで約300人の方々にお越しいただきました。スタッフの人数に対し、お越しいただいた方が多くすごく大変でしたが、

年齢に合わせた言葉遣い、目線の高さなど勉強になることも沢山でした！

子どもたちは測定が終わると、親のところに行ってとても楽しそうに、自分の結果を報告していました。親子参加ならではの盛り上がりが見られました。

子どもたちがとても楽しそうにしてくれたので、うれしかったです！
(2回生 W・M)

*TASKはThink, Action, Support for Health by Kio Universityの略称です。学科の枠を越えて協力し合いながら、地域住民の方々や畿央生の健康支援を目的として活動しています。



メッセージ

健康科学部
看護医療学科
学科長
河野 由美



後援会の皆様には、本学の教育にご理解と多大なご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。本年6月におきました震災と7月の豪雨災害におきまして、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。近年の自然

災害を見ますと、過去の経験からは予測できない、想定外の事態が多く生じております。あらためて災害時対応の重要性を再認識し、看護医療学科におきましても、実習中の学生への対応など対策を再検討しているところでございます。大切なお子さまの安全を第一に考えて、しっかりと対応策を講じていくとともに、学生自らが命を守る行動がとれるように教育していく所存でございます。

さて、今年2月に実施されました看護師・保健師・助産師の国家試験合格率ですが、おかげさまで本校はこの3つの国家試験全てにおいて合格率は100%でした。関西の私立大学において、3つの国家試験全ての合格率が100%であったのは本校を入れて2

校のみです。本当に学生は良く頑張ってくれたと思います。引き続き、学生一人一人の夢が実現できるよう合格率100%を目指して教職員一丸となって支援していきたいと思っております。また、本学科では、以下に記したような学生の自己学修会・勉強会を積極的に支援することで、学生の主体性と自己効力感を高め、自ら考え行動できる人材育成に努めております。

本学で学んだ学生が社会に大きく貢献できるように、建学の精神を礎としながらも、高い専門性と人間性を備えた専門職教育が行えるよう尽力していきたいと存じます。今後とも引き続き、皆様のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

基礎看護技術自己学修会の取り組み～技術の確実な修得をめざして～

看護医療学科では、1回生から2回生前期まで基礎看護技術を学びます。学生は、ベッドメイキングなど病室の環境を整える技術や清潔・食事・排泄などの療養生活を支える技術、対象者の健康状態を判断するためのバイタルサイン（体温・脈拍・呼吸・血圧）の観察など、講義や演習を通して様々な技術の修得を目指します。しかしながら時間が経つと忘れることも多く、確実に技術を修得するためには、繰り返し練習が必要です。

そこで、3回生を対象に、後期からの臨地実習に向けた自己学修のきっかけになればと考え「基礎看護技術自己学修会」を、中西恵理助教を中心に企画・実施しました。毎回テーマを決めて知識の確認と技術練習を行いました。教員は学生の様子を見守り、学生からの質問に応じてアドバイスをしました。第3回の学修会からは3名の学生が企画に加わり、参加した学生は積極的に取り組んでいました。

テーマは「バイタルサインの観察」「体位変換・車椅子への移乗介助」「臥床患者の寝衣交換」「フィジカルアセスメント（バイタルサイン・呼吸音・腹部の観察）」でした。

参加した学生からは後述記事のような感



想があり、知識と技術の再確認ができたようです。3回生後期の実習は、これまで学んだ知識と技術を統合して看護を実践します。学生が自分の力を信じ対象者により良い援助を提供できるよう願っています。

【参加した3回生の感想】

自己学修会の内容は1回生の基礎論で学びましたが、ところどころ忘れていた部分がありました。今回の学修会では自分の忘れていた部分は実際にやってみることで思い出すことができ、臨地実習に向けてよい学びとなりました。また、自己学修会があれば必ず参加したいです。(K)

バイタルサイン測定と体位変換・車椅子移乗の演習に参加しました。看護技術基礎論や基礎看護学実習以来、実施をしていないことばかりでした。初めは的確に実施できるか不安でしたが、グループメンバーと手順を確認しながら実施したことで、これまで修得してきた技術をより確実に実施できるようになったと感じています。(K)

1回生の時に行った援助の基本をしたのですが、頭の中では何となく分かっている体で追

いついていないことを実感しました。また定期的な復習が援助を実施する上で大切だということを感じ、この自己学習会はとても私自身のこれからの行動を考える機会にもなりました。(M)

ラングとフィジコを使って副雑音を聞いて、副雑音の違いを認識することができました。1回生の時の演習でも聴診しましたが、知識が増えた現在もう一度聞くことで、実習で呼吸音を聴診する意味がわかりました。(T)

私は、特に呼吸や腹部の聴診に自信がありませんでした。しかし、3回生になり人体の構造・疾患についての知識や理解が1回生のときよりも深まっている今、呼吸や腹部の聴診を復習することで、人体の構造・疾患を関連付けて理解することができ、よい学びとなりました。(T)



メッセージ

健康科学部
健康栄養学科
学科長

小西 洋太郎

保護者の皆様には本学・本学科の教育に平素から多大なご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

例年、管理栄養士国家試験対策には学科



をあげて指導・支援しているところですが、2017年度卒業生の国家試験の合格者は88名(受験者89名)で合格率98.9%でした。次年度こそは全員合格を実現したいものです。

さて、新入生のみなさんは半年が過ぎ、大学生活に慣れてきた頃だと思いますが、保護者にとってはまだまだ心配なことがあるのではないのでしょうか。全国大学生協連合会が昨年度実施した「保護者に聞く新入生調査」において、回答した保護者のうち43%が「心配なこと」として、新入生の友達つき合いなど「人間関係」を挙げています。ある大学では保護者から「友人ができないことを理由に大学に行っていないみたい」ということが深刻な相談として寄せら

れているそうです。このような問題がマスメディア(産経新聞4月12日)にとりあげられたのは、わが子の人間関係が当世の保護者にとっては、心配ごとになりえることへの驚きからでしょうか。受験生が減少していくなか、どの大学も親が子を心配するのは当然のことのことで受け止め、保護者との連携をより深めていく必要があることが調査から読み取れるのではないのでしょうか。

本学では、保護者の心配ごとを緩和あるいは解消する体制、また保護者と教職員が連携して学生をサポートする体制が整っています。担任教員と学生との面談等を通じて、これまで以上に学生の後押しをしていく所存です。

授業レポート ～食品開発コース推奨科目～「食品設計開発学演習」

昨年度より、食品開発の基礎を体系的に学ぶ演習を開講しています。食品開発者には、社会が抱える健康問題に対し「新しい食品」にて解決案を提示する力が求められます。消費者や時代のニーズを分析する力、

新しい食品を具現化するための機能性食材の知識・加工の技術を身に付ける必要があります。加工の技術に関し



ては、3回生時に、食品開発コース推奨科目である「食品加工学」という座学で体系的に学んだ後、「食品加工学実習」という科目で、実際に加工食品の製造を経験しています。4回生対象の「食品設計開発学演習」では、それまでに身に着けた食品に関する知識・技術を用いて、必要としている消費者に「届ける」ことを中心に学ぶこととなります。またこの科目では、食品開発に従事している企業の研究者に始まり、機能性素材を開発する研究者、さらに高齢化社会を見据え、言語聴覚士(嚥下機能の専門家)や病院給食の実務に関わる講師を招き、食品開発を広い視点から捉えることを学びます。

受講者からは「自分の視点だけでなく、開発したものを消費者に届けることについて客観的に考えることができた。」といった声が聞こえてきます。食品開発は健康問題を解決する一つの方法だということを感じたようです。この演習が、食を通じて健康社会に貢献する開発者となる基礎となってくれることと思います。



エコー・マミにおける食育展「あなたも食育にチャレンジ!!」

6月27日(水)、7月2日(月)、6日(金)の3日間、(株)関西都市居住サービスにご協力いただき、大学の隣にあります商業施設「エコー・マミ」北館セントラルコートにおいて、「あなたも食育にチャレンジ!!」をテーマとして食育展に取り組みました。3回生がクラス単位で各1日を担当し、妊娠期から高齢期までのライフステージに応じた食をめぐる課題から内容を考え、展示・体験・ミニ栄養教室のコーナーを設けました。「展示コーナー」は、「もったいない食品ロスを考えよう」、「おやつ賢い食べ方」、「初めての離乳食」、「水分補給のすすめ」

「ダイエットを始めたあなたへ」、「高齢者と低栄養」など幅広い内容にすると共に、短時間でご覧いただけるよう4コマ程度で掲示しました。優れて

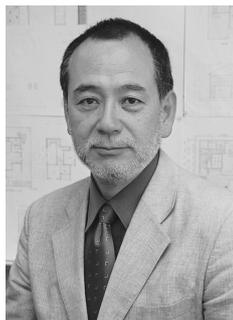
いると思われる作品を3点選んでいただく人気投票も実施しました。「体験コーナー」は6つのブースに分かれて、食べ物の働きクイズや体重・身長からBMIを計算するなど参加・体験型の内容としました。「ミニ栄養教室」は「酢の健康効果」、「高齢者の水分摂取のすすめ」などのテーマで作成したスライドを5分間で解説しました。

食育は知識・技能を学ぶことだけでなく、食行動の変容につなげていくことが目標です。行動変容の鍵として、自己効力感(セルフエフィカシー)と結果期待があげられます。学生は、参加者が「やってみよう」と意欲を高めていただけるように、内容を工夫して参加・体験型の取り組みを実践することができました。



メッセージ

健康科学部
人間環境デザイン学科
学科長
三井田 康記



平素より、本学の教育にご理解、ご支援を賜り、ありがとうございます。

大学に入学したばかりの頃は幼く見えた1回生も、ようやく、大学生活にも慣れ、授業もにぎやかさを増してきました。2回

生は、製図室の使用にも慣れて、まるで自分の部屋でもあるかのように、製図に、勉強に楽しく製図室を使ってくれています。

夏季休暇の間は日ごろできない体験を積む貴重な期間です。3回生の多くはこの期間に企業インターンシップに出ます。この授業は、それぞれの希望に応じて、2週間ほど企業で就業体験をするというものです。実際の仕事を体験することで、また他の大学の学生と接することで、自分の未熟さや周りから寄せられる期待の大きさ等を感じるようです。インターンシップから戻った後の成果発表会では、各自の意気込み、反省などを踏まえ、見違えるほど目つきが変わります。

一方、2回生、3回生との合同のプロジェ

クトゼミもこの期間に始まります。学外に出て、調査や見学などを行います。課題解決に向けて議論をしたり、共同作業をするうちに学年を超えた絆が生まれ、積極的な態度が培われます。

9月半ばからはじまる新学期、4回生は、大学4年間の集大成としての卒業研究がよいよ「やま場」を迎えます。夏休みの間に準備を進めていた成果が問われます。

今年度は、平成31年3月9日(土)、10日(日)の2日間、大和高田市にある「さざんかホール」のギャラリーで卒業作品展を開催する予定です。4回生の保護者様はもちろんのこと、下級生の皆様もぜひ足をお運びください。学生の成長に驚かされるに違いありません。

畿央大学の色彩

李ゼミでは「畿央大学の色彩」を研究テーマとし、去年は畿央大学ロゴに対する調査を行いました。「知的で清潔感のあるブルーに、爽やかなグリーンをプラス」と定義付

次のうち 本物の畿央大学のロゴだと思うものを選んで下さい。(授業ではカラー表示です)



けられている畿央大学のロゴの色を正しく記憶しているのか、他大学のロゴカラーを勝手に借りて畿央大学のロゴに施し、学生と教職員を対象に「本物の畿央大学のロゴ」を当ててもらいました。その結果、正解率は67%でした。また、紫と答えた人29%、水色4%であったことから記憶色にややズレがありましたがなんとなく「青」に近い色として記憶していることがわかりました。では、畿央大学のイメージカラーはロゴの色と同じ「青」でしょうか？

今年は大学のイメージカラーとエクステリア、快適なインテリア空間との関わりに



ついて検討を行っています。レンガ造りの外観、きれいな室内空間を撮影し、いくつかの形容詞項目に合わせた色変えを行いました。後期のプロゼミでは壁の色、机の色から学食の食器の色まで、フォトショップとイラストレーターによる色変え後の画像試料を用いて感応検査を行う予定です。ご協力をお願いいたします。

2回生「建築設計演習Ⅰ」講評会!

7月30日(月)、31日(火)の2日間にわたり『建築設計演習Ⅰ』の課題講評会が行われました。1回生担当の『建築図学』で学んだ基礎知識をもとに、学生自らが考え設計し、



図面や建築模型を制作します。今回は履修生56名分の作品が並びました。

課題は、「週末住宅」と「戸建て住宅」です。第1課題の週末住宅は、敷地や簡単な条件のみを提示し、既成概念に捉われない自由な発想で設計してもらいます。第2課題の戸建て住宅では、容積率や建蔽率などを制限し、日照や通風、適切な寸法、プライバシーなどの住宅に必要な条件を追

加し、設計をします。学生たちは、夜遅くまで製図台と向き合い、講評会までの間に、何度も何度も教員との図面チェックを繰り返し、より良いものに上げていきます。

いよいよ講評会が始まると、学生一人ひとり前に出て、自分の図面と模型をならべ、5分程度のプレゼンテーションを行いました。まじまじと図面と模型をチェックされ、教員から間取りや外観形状、図面の間違い、模型の完成度など鋭い質問や批評を受けます。

2回生は、自分の作品がどのような印象を与え、どんな評価を受けるのかととても緊張している様子でした。

後期の『建築設計演習Ⅱ』では、より規模の大きい課題にも挑戦します。

講評会で得られた知識や経験を活かして、次回も頑張ってもらいたいと思います。

今回選ばれた優秀作品は、10月20日(土)、21日(日)に開催される畿央祭にて展示しますので、ぜひお立ち寄りください。

メッセージ

教育学部
現代教育学科
学科長
安井 義和



後援会の皆様には本学の教育研究活動に、常日頃あたたかなご支援・ご理解を賜り、ありがとうございます。

教育学部の多くの学生は幼稚園・小学校等の教育現場を目指していますが、ご存知のように国としての緊急課題でもある少子化が教育学部にも少なからず影響するのは不可避な現実が横たわっています。現に今年の4回生が受験している教員採用試験の採用予定者数が減少している自治体も少なくありません。にもかかわらず、教育保育現場を目指している学生或いは今後畿央大学教育学部への入学を希望してくれている

若者にとっては、教育現場とはそれ以外の進路と比すことができない大きな意味があるのではないかと思います。

また、少子化が進行している状況下でも初等教育の教員資格を与える学部等が新設され続けています。どんな教員、いかなる保育士を社会に送るかを考え、学生を育てていくことが今まで以上に私たち教職員の責務であると思います。教職員一体となって努めますが、今まで同様に保護者の皆様のご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

暑い夏に、熱く熱く!!

この春に教壇に立った平成29年度の教育学部9期生もまた、優秀な成績を残してくれました。44名が小学校教諭(奈良県19名、大阪府13名、大阪市6名など)、5名が養護教諭(高知県2名、京都市、和歌山県、三重県各1名)、3名が特別支援学校教諭(奈良県、大阪府、神戸市各1名)の採用

試験に現役合格。合格率は、小学校62.0%(昨年度61.0%)、養護教諭23.8%(30.8%)、特別支援学校教諭50.0%(50.0%)でした。また、公立幼稚園・保育園は、39名中34名が現役合格、合格率は87.2%(昨年度83.3%)となるなど奮闘してくれました。

これらの先輩に続けと、今年の4回生も、自らの進路の実現に向け、みんなで一丸となって努力とチャレンジを続けています。ただ、今年の夏は、例年よりも暑く、大雨等により採用試験の日程も大きく影響を受けています。何とかして試験会場近くまで行ったものの、試験が延期になったり会場が変わったりなど、日程や内容の変更が出た自治体もありました。

そんな中、4回生は、電話やスマホを使って情報収集をしたり、教採・公務員対策室



や教育学部の先生方にも相談したりしながら、受験計画を組み立て直し、熱く、たくましく挑む姿が多く見られました。

暑い夏だからこそ、みんなで力を合わせ、熱く熱く、そして、したたかに、進路を切り開いています。みんなで支え合い、頑張ろう!!

写真は、絵本の読み聞かせなどの模擬保育と集団討論の対策講座の様子です。



「1回生 畿央大学独自の学修に取り組みました」

現代教育学科には、1回生全員と担任全員で進める授業があります。

木曜1限の「キャリア形成セミナー」では他の授業では扱わない「誰でも出会うかもしれない大学生生活の危険」「大切な人を救うための救命講習」「希望を実現しつつある先輩の経験」などを学びました。

同2限の「ベーシックセミナー」は、教育研究者としての基礎的な能力を身につけることを目指します。第1Stageでは、宿泊研修最後のプログラム



「段ボールの造形活動」を活動したグループで8~10程度の場面の紙芝居に

まとめ相互発表します。

第2Stageでは、課題「教育課題に取り組みよう」の下、個々が取り組みたいテーマを紹介し合い、共感した2人~4人による活動班で、研究書籍や専門の内容を扱ったウェブサイトなどを当たりながら探究活動を進めます。テーマには今日的な「少子化と待機児童」「学力格差と経済格差」や普遍的な「子どもの叱り方」「給食が苦手な子供への対応」などがありました。発表方法ではパワーポイントに手製の資料や人形劇を組み合わせるなどの工夫も見られました。研究者としての大学教員から研究者としてのスキルを学べたと今後に期待しています。



ま

担任からのメッセージ

畿央大学の担任制度は、教員が担任として学生との人格的な接触をはかり、学生生活全般の指導を行うことによって、建学の精神を身につけた有為な人材を養成することを目的としています。

健康科学部は学科ごとに2～4クラスを編成し各クラスに1名、教育学部はコースごとに2～6名の担任を置くことにしています。健康科学部4回生、教育学部3・4回生は卒業研究の指導教員が



理学療法学科1回生担任

峯松 亮

5月の連休明けから面談が始まりましたが、どの学生も大学生活に慣れ、勉強に課外活動に忙しくしているようです。体調不良を訴える学生もなく、充実した学生生活を送れているように思います。学習面では、高校時とは授業内容やシステムの違いから、単位が修得できるのだろうかとの不安を口にする学生もいますが、復習をしたり、友達と勉強したりと自分なりに打開しようとする姿勢には大学生としての自覚を感じます。勉強だけでなく、自分の設定した目標のために今何をすべきか、なぜしなければいけないかを理解することは自立・自律につながると考えます。何をやるにしても、まずは心と身体の健康を保つことが何より重要だと思います。学生が自分の目標に向かって安心して進めるよう保護者の皆様にもご支援をお願いいたします。



理学療法学科1回生担任

高取 克彦

大学生活に対して不安も大きかったと思いますが、先日行った個別面談ではほぼ全員が「大学は楽しいです」と即答で答えてくれました。またほとんどの学生は部活など自分に合った課外活動も行っており、充実した毎日を送っている様です。(ただ勉強は難しいという声も多く聞かれました…)。大学生活、進路など何か困りごとなどがありませんでしたらいつでも研究室に来てくださいと面談時にお伝えしています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



理学療法学科2回生担任

冷水 誠

専門科目が増えると同時に、実習科目が始まり実技試験も入ってきております。多くの学生は会うたびに「大変です」「やばいです」と言いながら、夜遅くまで残って勉強や実技の練習をしてくれている姿をよく見かけます。グループで協力する様子もみられ、お互いに成長してくれればと願っています。今後も素晴らしい理学療法士に向けて全力でサポートしていきたいと

思います。ただ、この時期から自身の進路について悩み出す学生も増えてきますので、進路や学生生活をふまえてサポートしていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



理学療法学科2回生担任

松本 大輔

1年生での講義中心の授業とは異なり、2年生で専門科目が増え、放課後夜遅く、土・日曜日でも大学で自習している姿を見ることが多くなりました。勉強しなさいと言わなくても、自覚をもって出来ているようです。一方、今後の進路について「試験に合格して、理学療法士にちゃんとなれるか不安」という声もよく聞きます。学年を重ねればさらに、日々の勉強、試験やそのプレッシャー、不安で心身ともに疲れが出ることもあると思います。保護者の皆様には、学生本人の気持ちを聞く機会を作っていただければと思います。



理学療法学科3回生担任

今北 英高

3回生後期終了後より、評価実習や総合臨床実習が予定されております。現在は前期ですが、専門的な科目、実習なども増えてきており、学生たちも一層真剣に勉強に取り組んでいる様子です。また、下級生も2学年に増え、益々、先輩としての自覚も出てきており、ちょっとだけお兄さん、お姉さんとしての振る舞いも見え隠れしています。さらには、元氣塾などに参加して、人生経験豊かなご年配の方々とも接する機会があり、経験・成長の幅も大きくなってきています。これからも益々学問を究めようと努力する子どもさんの姿を見守っていただき、もし何か相談などがありましたら、お気軽にお声かけくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



理学療法学科3回生担任

岡田 洋平

入学後2年の月日が経ち、学ぶ内容がより専門的で難しくなり、多くの学生さんが「元氣塾」(大学主催の

ゼミ担任となります。

担任の役割は、「学習指導」「生活指導」「進路・就職指導」「学生の危機管理」が主なものですが、学生一人ひとりの状況を系統的に把握していくために全学年において年2回の全員面談を実施しています。また、学生の求めに応じ、また必要性が生じた時には随時に面談を行うこととしています。

健康科学部1～3回生担任、教育学部1・2回生担任から、担当されている学生の様子などについて保護者の方へのメッセージを寄せていただきました。

リハビリ教室)にも参加してくれており、遅くまで学校に残り勉強したり、グループで話し合ったりする姿がよく見られるようになりました。皆それぞれの状況において、時には迷ったりすることもあるかもしれませんが、大変頑張っていると思います。ゼミへの配属も決まりゼミ担任もできますが、これからも学年担任として、みんなの成長を見守りながらサポートしていきたいと思えます。ちょっとしたことで結構ですので、何かございましたら、ご遠慮なくご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。



看護医療学科1回生担任

松本 泉美

前期に行った担任面談では、科目によって受講時間が異なることや、予想以上にレポート課題が多く、それにサークル活動やアルバイトが加わり、忙しい大学生活になっているようです。また学修内容の難しさを実感し、勉強に真剣に取り組もうとしていることがうかがえました。担任としては、生活リズムや友人関係など人的環境が変わることも心身に影響しますので、その変化に留意しつつ、楽しく爽やかな学生生活を送ってほしいと思っています。



看護医療学科1回生担任

乾 富士男

卒業後の目標が明確になっている学生も多く、その点はいいことだと感じました。しかし、目標を達成するための具体的な学修の計画があるわけではない人も多くいました。必修科目も多く、なかなか自分のやりたい学修ができるわけではないかもしれません。しかし、大学では自ら学ぶことが重要で、受け身的に教わるものではないと考えます。主体的・能動的に学修できるようにと指導しています。



看護医療学科1回生担任

弓場 紀子

クラスの印象は、<個性豊か><個人の意志を貫く強さと誠実さと素敵な笑顔と優しさをもっている>です。個人が自分のもつ徳に磨きをかけ、専門

職としての学びをしっかりとしてくれたら4年後は自立した対象の思いに寄り添える素敵な専門職者になってくれるだろうと今から期待しています。大学生生活に慣れた後期からは、わかる学習スタイルを確立し、規則正しい生活を送ってほしいと願います。保護者様のご協力をよろしくお願い致します。



看護医療学科1回生担任

堀江 尚子

期待と不安を併せ持った4月の入学式から早くも数か月が過ぎ、大学生生活に随分と慣れてきた様子がかうかえます。前期の面談では、大学の学習課題は多くて大変だけれど、新しくできた友人と話すことがとても楽しいという学生が多くいました。出会いに限らず大学は新たなことを経験できる環境が整っている場所です。限られた時間の中で関心のあることに積極的に関わっていってくださることを担任として望んでいます。



看護医療学科2回生担任

林 有学

入学から1年が過ぎ、大学生生活にも慣れたようです。昨年度末の基礎看護学実習を通して看護職が担う責任を実感したと思います。2回生は専門科目が増え内容はより専門的になりますが、卒業までは時間があり中だるみの状態になりがちです。今の学習が今後の基盤となりますので、学生生活を楽しみながらもメリハリのある充実した時間を送ってほしいと思います。担任として個々の学生に応じサポートしていきたいと思しますので、ご家庭でも引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。



看護医療学科2回生担任

林田 麗

大学生生活も2年目となり、面談や授業の様子を通して学修の積み重ねが大切であることをより考えるようになってきていると思います。また、同じ看護専門職を目指す学友とも課題をこなす中でその関係作りが深まっていると思います。学生個々の進度も見守りながら、専門科目の増える後期に、より積極的に学修に取り組めるようにサポートしていきたいと思っています。保護者の皆さまには、引き続きご支援のほど、どうぞよろしくお願い致します。



看護医療学科2回生担任

對中 百合

2年生となり大学生生活にも慣れ、自己の学習に関する問題点も認識しているようです。しかし、専門科目が増え、課題が多くなって

きていることやこのところの異常気象もあり、身体的にも精神的にも疲労があるのでは、と考えております。引き続き個別に指導して参りますが、ご自宅でも今までと同様にサポート頂けたら、と思います。今後も、保護者の皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。



看護医療学科2回生担任

南部 登志江

2回生になりやや自覚ができてきたのか、「学習を頑張っている」という学生が増えています。しかし、結果に結びつくためには、学習の仕方の工夫や時間を有効に使うことなどが必要です。体調を崩しやすい季節ですので、学習を深められるよう、ご家庭でもご協力をお願いします。



看護医療学科3回生担任

山本 裕子

大学生生活も3年目となり、自分なりの学習ペースをつかんでいます。現在は後期からの臨地実習に向けて努力を重ねています。実習ではおよそ半年にわたり、慣れない医療現場等で実際に看護を実践しますので、強い緊張状態が長く続きます。そのため、心身両面での健康管理が重要となりますので、ご家庭でもご支援の程、お願いいたします。また、昨今は看護師の就職試験・内定の時期が早まっておりますので、時間の許す範囲でのインターンシップの経験や興味・関心のある病院の情報収集を助めております。ご家庭でも将来の進路についてご助言を賜りますようお願いいたします。



看護医療学科3回生担任

大友 絵利香

看護医療学科の学生にとって、3年生前期は、本当に多くの課題や実習に向けた学習で息をつく間もないほどの目まぐるしさです。そのような中でも、2組の皆さんは、グループワークや演習の場面で素晴らしいリーダーシップを発揮するなど各自の役割を果たしてくれています。その姿を目にして私は、後期から始まる各領域の実習においても、これまで積み上げた知識と畿央生として周囲に誇れる態度でそれぞれの学びを深めてくれることを信じています。これからの実習では、臨地の指導者や患者さんとの出会いが待っています。その出会いが皆さんにとって大きな糧となることを祈りながら、近くでサポートしていきたいと思えます。



看護医療学科3回生担任

須藤 聖子

3回生の前期は、後期の実習に向けてこれまでより、課題に追われるようになり、心身共に疲れた様子でしたが、みんな頑張っ取り組んでいました。今の学修が必ず実習で活かされることを願って、今後も担任として学生がいつでも相談できる環境を提供したいと思います。ご家庭でもどうか温かいご支援をお願い致します。



看護医療学科3回生担任

秋山 明子

3年前期は、連日続くレポートや課題等に取り組む姿を頼もしく思うとともに、何とか乗り越えていってほしいと祈る気持ちでございました。3年後期から臨地実習が始まるとさらに忙しくなるとともに緊張状態が続いてストレスも高まりますが、臨地実習は机上で学んだ知識が血肉となり、飛躍的な成長をみることができると重要な機会になります。一番苦しい時期を力強く乗り越えて前進していってくださることを期待しています。ご家庭で心配なことや気になることがあれば、遠慮なくご連絡いただければと思います。今後ともよろしくお願い致します。



健康栄養学科1回生担任

永澤 健

「充実している」「大学が楽しい」「興味を持って学習に取り組んでいる」「畿央に来てよかった」という声を面談で多く聞きました。期待と少しの不安を持って入学したと思いますが、順調に大学生生活のスタートを切ることができたようで、嬉しく思っています。授業ではお互い助け合い、教え合いながら交流を続けてほしいと願っています。後期からは、ますます大学に慣れ学生生活が充実してくるとともに、大学祭などの楽しい行事もあります。1年生の学習内容は管理栄養士を目指す上で大切な基礎になりますので、まずは「学習時間の確保」と毎回の「授業の復習」が大切です。担任として学生の成長を見守りつつ、夢の実現に向けてサポートしますので、今後とも保護者の方々のご支援をよろしくお願い致します。



健康栄養学科1回生担任

松村 羊子

そろそろ大学生生活にも慣れ、楽しく学生生活を過ごしているという学生が大半で、ホッとしています。しかし、履修科目も多く専門的な科目の勉強をどうしていいのかわからない、試験をクリアできるか不安、という声が多く聞かれました。今勉強していることは今後の国家試験につな

がっているの、教科書をしっかり読んで理解してほしいこと、理解できないところは質問するといった基本的なことを伝えています。授業をただ受けているのではなく、積極的につかみ取っていく姿勢であってほしいと願っています。



健康栄養学科1回生担任

米田 武志

入学当初は多少の緊張感がありましたが、最近は元気に学業やクラブ活動に励んでいる姿が見られます。

6月に行った面談でも「毎日が楽しい」という学生の声を多く聞きました。将来に対しては、まだ漠然としたところがあると思いますが、まずは目の前のことに真摯に取り組む中で成長し、視野が広がってくることを期待しています。大学生活が充実感と未来への希望に満ちたものとなるよう引き続きサポートして行きたいと思います。



健康栄養学科2回生担任

栢野 新市

2回生となり大学生活にも随分と慣れてきた様子です。その一方、緊張感が薄れてきたせいか成績が下降気味と感じている学生も見受けられます。ただ全員が勉強により力を入れたいと考えているので、これからの頑張りにも期待したいと思います。また部活やサークル活動に参加している学生も多く、全体的には充実した学生生活を送っている様子がうかがえます。後期からは専門科目の授業も増えてますます忙しくなりますが、より充実した学生生活を送れるようにサポートして行きたいと思います。



健康栄養学科2回生担任

串田 修

進学から1年が過ぎ、少しずつ栄養学の専門科目が増え始めてきました。

授業で忙しくても、自習・課外活動・アルバイトなど、皆さん充実した生活を送っているようです。昨年度末にコース選択を終え、コースに関する就職に興味を示したり、外部のセミナーに足を運んだり、専門職への意識の高まりも伺えました。栄養学は幅広く、方向性に迷うことも多々ありますので、進路や勉強で悩みがある際は引き続きサポートして行きたいと思います。



健康栄養学科2回生担任

熊本 登司子

大学生活も2年目に入り、勉強に課外活動、アルバイトなど楽しくも忙しい毎日を過ごしている様子です。

授業では専門科目が増え、課題やレポートの提出を大変だと感じている学生が多いまし

たので、後回しにせず早い目に取り組むようアドバイスいたしました。今年の夏からは一部で学外実習(ふれあい実習:選択)もスタートし、3年次からは臨地実習も始まります。暑い時期での実習になりますので、今から規則正しい生活や健康管理についてご家庭でもサポートしていただきますようお願いいたします。



健康栄養学科3回生担任

前原 佳代子

3回生になり、インターンシップへの参加、希望職種の情報収集など就職を意識した活動が開始されています。将来について明確なビジョンを持っている学生さん、専門科目を学ぶ過程で進路に迷いを生じている学生さん、と様々です。どのような職業に就くかは大きな選択です。若い学生さんが主体的に選択をして、その選択に対して自ら責任を負えるようになることを願っています。保護者の皆様には、引き続きご支援のほど、よろしく願い申し上げます。



健康栄養学科3回生担任

中谷 友美

早いもので大学生活も半分が過ぎました。面談でこのことを尋ねると、多くの学生が「早い」と答えました。「卒業したくない」との声もありましたが、大学が楽しいからだけではなく、社会に出ることへの不安が含まれていました。面談も就職に関する話題が増え、将来を意識していることを感じます。これから臨地実習も始まります。いろいろな経験を通じて、様々なことを感じ、自分で考え、発信する力を養ってほしいと思います。



健康栄養学科3回生担任

村木 悦子

大学生活も後半戦に入り、自分なりの管理栄養士像が見え始めてきたようです。専門科目の単位修得に四苦八苦しながらも、将来の目標に向かっていくことにチャレンジしようとする姿を遅く感じる一方、1年後には就職活動を始めなければならぬ現実にも戸惑いを隠さないようです。この夏からいよいよ臨地実習がスタートしますが、いい経験をして一回り大きくなって帰ってきてくれることを期待しています。

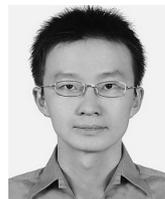


人間環境デザイン学科1回生担任

清水 裕子

入学当初の初々しい姿から、皆、徐々に大学生の雰囲気をもってきました。個人面談では、学生生活の話から、ご家族の話題まで、思い思いに話を

してくれました。建築やインテリア関係の職業に着きたいという学生らに、実際の建築を見たり学外のコンペに参加して見地を広げるようアドバイスすると、早速、複数の学生が、建築見学の計画を立てており、その行動力に期待が高まりました。引き続き、相談しやすい環境を築いていきたいと思います。



人間環境デザイン学科1回生担任

陳 建中

前期の面談で、クラスの学生たちと話しました。大学の授業や部活など、少しずつ大学生活に慣れてきた様子です。前期試験が心配との声もありましたが、「友達ができた」や「大学生活が楽しい」と笑顔で答えた学生が多かったという印象です。4月の宿泊研修で古い町並みを見学して以来、6月のまち観察の課題では、皆さんが真面目に取り組む姿が見られました。これから4年間の大学生活で、学生たちの成長を楽しみにしており、サポートしていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。



人間環境デザイン学科2回生担任

東 実千代

1回生が入学して半年が経過し、先輩らしくなった2回生です。昨年度の単位取得状況は概ね良好で、今年度からは専門科目の履修に伴い授業の空き時間に製図室や実習室で過ごす時間が増えてきました。作業しながら仲間と共に過ごす時間は、卒業後も忘れることのない思い出となるでしょう。後期から始まるプロジェクトゼミの配属を決める際には、悩みすぎて苦しそうな学生もいましたが、無事に配属先が決まりました。先輩達との学びによる今後の成長が楽しみです。ご家庭で是非大学での様子を聞いてみてください。



人間環境デザイン学科2回生担任

西山 紀子

面談をすると、だれもが「学校は楽しい」と話してくれます。2回生になって専門科目が増え、内容も高度になっていますが、1回生の頃よりも、友達との語らいやサークル活動などを楽しむ余裕がある様子です。上手に時間を使って日々を過ごすことができるようになってきたのでしょう。また、望む進路を踏まえ、在学中に取得可能なインテリアデザイン関連の資格試験にチャレンジするなど前向きな姿勢がみられます。ますます充実した大学生活を送ってほしいと願います。



人間環境デザイン学科3回生担任

村田 浩子

3回生前期面談では学生の様子が今までと少し違つたように思います。

学生たちは、入学時からここまで頑張ってきたという自信と、就職等将来への不安と期待が交錯しながら多くのことを話してくれました。「大いに悩みなさい」というと学生たちは頭を抱えますが、悩める姿はまさに成長した証で頼もしく思っています。これからも学生たちに伴走してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



人間環境デザイン学科3回生担任

加藤 信喜

人間環境デザイン学科のプロジェクトゼミでは、学科の教員がそれぞれ数名の学生を受け持ち教員の研究

テーマにそって学んでいく場であり、学科の特長の1つになっています。毎週、教員と学生がプロジェクトを通して密接に関わり合いながら互いに成長していくことができるのです。その恵まれた環境の中で学生一人一人と真摯に向き合い、彼ら彼女らを全力でサポートしております。



現代教育学科

学校教育コース1回生担任

(1回生学校教育コース担任代表)

竹下 幸男

前期の担任面談で一人一人とお話ができて、大学生活

をそれぞれの思いで楽しみ、将来の希望をもって生活している様子を聞くことができました。一方で、これまで信じていた目標に自信をなくしかけたり、迷ったりしている声もありました。大学で大いに学び、悩むことで一人一人が自分の将来を確たるものにして欲しいと切に願っています。また4年間の大学生活を楽しみ大きく成長されるお手伝いをすつつもりです。保護者の皆様には、ご家庭でのサポートをよろしくお願ひします。



現代教育学科

学校教育コース1回生担任

島 恒生

「大学生活はどう?」「楽しいです!!」笑顔と共に、返ってきました。英検を取

る、教採の参考書を読む、優以上の成績を目指す。夢に向かって、自分のすべきことを、それぞれにしっかりと考えているようです。また、多くの学生がアルバイトも始めています。「勉学を優先に、いい経験をしようね」「はい!これ以上は増やさず、空き時間は勉強の時間としてうまく使いたいです!」今の気持ちを大切に、有言実行してほしいです。



現代教育学科

学校教育コース1回生担任

大久保 賢一

大学生生活は比較的「自由である」といえますが、その分「自己管理能力」が求

められることとなります。大学生生活で最低限求められるのは、「きちんと食べて、寝て、起きて、授業に出席し、それぞれの課題に自分のペースで取り組む」ということです。今年度の1回生の担任面談を終え、この部分が心配でご家庭のサポートをお願いしたい学生がかなりいました。「当たり前のこと」と思われるかもしれませんが、実はこの「よい生活習慣」がとても重要で、最初から自分一人で管理するのは意外と難しいのです。



現代教育学科

学校教育コース1回生担任

塩原 佳典

前期の面談では、高校ま

では勝手が違う大学での学修に戸惑う声が多く聞かれました。大学での学修は、高校まで以上に、授業内だけで完結するものではありません。授業で紹介された参考文献を自分で取り寄せて目を通してみる。授業で学んだ方法論を自ら実践してみる。大学では、自律的に学びへ向かう姿勢が求められます。畿央大学には、そのためのチャンスが豊富に転がっています。私も微力ながら、学生のみなさんがそれぞれの「夢」を実現していくための支援ができればと願っています。



現代教育学科

学校教育コース1回生担任

生野 勝彦

5月、6月の担任面談では通学をはじめ生活習慣の

不慣れを申しでる学生がいましたが、前期テストが終わり夏休みをむかえるころには学生生活を楽んでいることでしょう。しかし今後、取得免許や進路等で悩みを抱える学生も出てくると考えています。担任としてできる限りサポートしていこうと思っています。また日々、学生の出席状況は確認しておりますが保護者の皆様方におかれましても見守っていただきますようお願いいたします。



現代教育学科

幼児教育コース1回生担任

(1回生担任代表)

西尾 正寛

担任面談に関してまずよ

さを感じたのは5月10日に「前期担任面談の連絡」のメールを配信したときでした。次の週の中頃には、研究室前に掲示した予約表に全ての学生が希望の日時を記入していました。また、本人が指定した日時には全員が遅れることなく研究室を訪れ、余

裕を持って面談をすることができました。受けた連絡に適切に対応し、行動する。当たり前のことですが、細かな連絡がなく自己管理を要求される大学では、全員が揃わないことも多いです。自立した学生生活を始めることができていると受け取りました。

面談では、4年後の目標が決まっている人、まだまだ迷っている人、第一希望ではなくて居心地が悪そうな人など、様々な声を聞くことができました。伝えてくれたことを嬉しく思いました。手応えを感じることで、迷うこと、目標を見失いそうになること、様々な場面があるでしょう。その度に、担任として向き合い、前に進む力になりたいと思います。



現代教育学科

幼児教育コース1回生担任

(1回生幼児教育コース代表)

中村 恵

前期の面談では、多くの

学生から「大学生活にも慣れ、毎日が楽しい」という声を聞くことができました。また、それぞれが興味のある部活動やサークル活動に積極的に参加している様子も伺うことができました。4年間を通して、学生一人ひとりが自らの目標に向かって、確実に自分の力で歩いていけるように支援していきたいと考えております。保護者の皆様には、今後も温かなまなざしとサポートをお願いできたらありがたいです。どうぞよろしくお願ひ致します。



現代教育学科

幼児教育コース1回生担任

衛藤 晶子

前期の面談では、畿央大

学の学生生活に慣れて楽しく過ごしている様子が伝わってきました。取得免許の選択肢が多い幼児養育コースですが、自分が取得したい免許・資格をしっかりと決めて、授業に真面目に取り組んでいる様子が見られました。後期になれば、実習に関わる授業が始まります。一人一人の思いや願いを大切にしながら、充実した学生生活が送れるよう、保護者の皆様と共にサポートをしてまいりたいと思います。



現代教育学科

幼児教育コース1回生担任

石川 裕之

入学直後は緊張した面持

ちだった新一回生も大学生活に慣れてきました。幼児教育コースは資格取得の選択の幅が広いこともありまだまだ進路をしぼり切れていない学生さんが多いですが、2回生から始まる実習を通じて徐々にしぼっていきけると思います。今後も精一杯学生さんの学業・進路をサポートしていきたいと考えております。保護者の皆様におかれましても、ぜひご家庭でのサポートをお願い申し上げます。何かありましたらお気軽にご連絡ください。



保健教育コース1回生担任
(1回生保健教育コース代表)

古川 恵美

保健教育コースの1回生のみなさんは、「穏やかで、キラキラしている」印象があります。養護教諭の資格取得のため本コースを希望されたのですが、入学してよりいっそう養護教諭になりたいという夢に向けて頑張る気持ちが強くなったと面談でお聞きしました。夢の実現に向けて、保護者の方々とともに支えていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



現代教育学科
学校教育コース2回生担任
(2回生担任代表)

奥田 俊嗣

2回生になって、学生の皆さんは互いに親しくなり、サークル活動にも活発に取り組んでくれます。授業に慣れてきたことが油断につながってしまわないように、声をかけさせていただいております。教育実習への依頼など、進路について考える機会も増えてきています。このような中で不安を抱えている学生も、少なくはないと私たちは考えています。ご家庭で気になることがあれば、お知らせいただけますようお願いいたします。



現代教育学科
学校教育コース2回生担任
(2回生学校教育コース担任代表)

八木 義仁

前期の面談は、学生の1年間の成長ぶりをうかがえるものでした。この1年間の自分自身を振り返り、身に付けられたことに自信をもち、課題を明確にしてこれからの大学生活の中で達成しようとしていました。また、漠然とした教職希望が徐々に明確なものになり、目的意識をもって学校インターンシップや学校ボランティアに参加する人が多くなりました。自らの将来を見通して、今、何をすべきなのかを考える2回生。頼もしく感じます。



現代教育学科
学校教育コース2回生担任

小谷 恵津子

2回生になり、自分自身の進路と真剣に向き合い、そのためにプラスになると考える活動に積極的に取り組んでいる方が、1回生の時よりも多くなったという印象をもちました。また、自分は何に関心があるのか、どんなことをより深く学んでいきたいのかについて考えている方が増えたことにも頼もしさを感じました。今後悩んだり迷ったりすることは多々あるかと思いますが、よりよい成長に向けて保護者の皆様と共にサポートしていきたいと考えております。



現代教育学科
学校教育コース2回生担任

小林 佐知子

担任面談で、2回生になったみなさんと久しぶりに会いました。春休みに海外留学やボランティアを経験したこと、織友会やクラブの活動がんばっていることなど、生き生きと話を聞いて、とても頼もしく感じました。オープンキャンパスなどでは、実際に活躍している姿を見かけます。今のがんばりは、きっと卒業後にめざす姿につながると思います。これからも学生のみなさんのがんばりを応援したいと思っています。



現代教育学科
学校教育コース2回生担任

深田 将揮

面談を通して、大学生活に慣れてきた様子がよくわかりました。専門的な学修内容も増え、課題等に頑張っている様子もよくわかりました。また、課外でも部活動、ボランティア活動やアルバイトにも積極的に取り組み、1週間の予定がぎっしり詰まっているという学生が多かったです。とは言え、面談では、健康面も大切にしようとも伝えております。もしご家庭で気になるようなことがございましたらお気軽にご相談いただければと思います。



現代教育学科
幼児教育コース2回生担任
(2回生幼児教育コース代表)

大城 愛子

面談からは、多くの学生が大学生活を楽しんでいる様子がうかがえました。幼児教育コース2回生のほとんどはこの夏に保育実習に行くため、それに向けての授業や課題が多く、また初めての実習に少し不安を感じている様子でしたが、自覚をもって臨む姿を頼もしく感じています。入学当時よりも進路に迷いが生じている学生もおりますので、大学での学習状況等を見守りつつ、サポートしていきたいと思っております。保護者の皆様、今後ともよろしくお願いいたします。



現代教育学科
幼児教育コース2回生担任

辰巳 智則

お子さんが入学されてから、早1年半になろうとしています。学生面談で感じましたのは、この間に正課授業や教育ボランティアの経験などを重ねられ、自分のこれからの進路に対し、より自覚的な語らいをされている点にあります。入学当初に描いていた進路を再認識している学生、変更を検討している学生など多様ですが、少なくともこの間

に多様な経験を通して自己の捉え直しを重ねてきたのだらうと思います。よく頑張っている学生達です。この夏、さらに一回り大きく成長されますことを担任として切に願っております。



現代教育学科
幼児教育コース2回生担任

三木 美香

前期の担任面談では、1年前より更に成長した姿に出会うことが出来ました。問われる課題も専門的になり、大変さを語りつつも充実した学生生活を送っている様子が窺われます。進路について悩んだり迷ったりする姿も散見されましたが、それだけ将来を真剣に考えている証拠かと存じます。楽しく生活することも大切ですが、時には悩み苦しみそれを乗り越えながら、大学生活を謳歌してほしいと考えています。皆さんの成長を見守り応援していきたいと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。



現代教育学科
保健教育コース2回生担任
(2回生保健教育コース代表)

高田 恵美子

大学生活にも慣れ、同級生や上級生との絆の深まりを感じます。授業の空き時間は、課題をしたり、ボランティア活動に参加したりするなど計画的に時間を使っているようです。サークル活動では2回生が中心となって活動する機会も増え、リーダーとしての役割を担う学生もいます。面談では、睡眠不足を訴える学生が多く、不規則な食事なども問題としてあがりました。学生が意欲的に学び続けるためにも心身の健康が重要です。保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



クラブ・サークル

本学のクラブ・サークルについて、活動状況をお知らせします。

大学の学生は、資格を取得することや国家試験、採用試験突破などを目標にしている学生が多いので、クラブ・サークル活動においても学習との両立を第一に考えて活動している状況が伺えます。いろいろなクラブ、サークルがあり、在籍人数はクラブで1,297名、サークルで474名と小規模の大学にしては活発に活動しているといえそうです。



● クラブ ●

団体名	活動日	在籍人数	団体名	活動日	在籍人数
軟式野球部	木・土	15	アルティメット部	月・木・土	63
陸上競技部	火・木	3	チアリーディング部	火・木	16
ソフトボール部	水・土	59	水泳部	月・水・金	31
男子バレー部	月・金	48	卓球部	火・金	21
女子バレー部	月・金	82	軽音楽部	平日	99
男子バスケ部	水・木	21	茶道部	木・金	11
女子バスケ部	水・木	21	染物部	火・金	8
バドミントン部	月・金	106	食生活研究会	火・木	16
フットサル部	水	19	理学療法研究会	月1回	51
硬式テニス部	木・土	30	教職クラブ	火・木	106
ダンス部	月・水	125	アカペラ部	水・金	77
弓道部	水・金	23	書道部	水	32
ビーチラグビー部	月・金	75	アコースティック部	月・木	50
ジャグリング部	火・木	7	災害復興ボランティア部	平日・土日	48
ソフトテニス部	火・金	31	イラストクラブ	平日	3

● サークル ●

団体名	活動日	在籍人数	団体名	活動日	在籍人数
硬式テニス	月・水	85	園芸	火	17
手話	火	41	科学	水・金	34
現代視覚文化研究会	月・水	13	畿央大学ボランティア	平日	16
バスケットボール	土	90	吹奏楽	月・火	19
アウトドア	月1回	67	サッカー	火	13
剣道	火	4	音楽	昼休み	11
フットサル	火	37	防災救命	第3日曜	22
少林寺拳法	火・木	5			

第16回 畿央祭

2018年10月20日(土) 10:00~17:00
21日(日) 10:00~16:00

てのひら
テーマ： 掌

今年の畿央祭のテーマは「掌」です。

一人ひとりの力は小さくても、手を取り合うことで、その輪がで、大きな力となります。人と人が手を取り合うとき、支え合い手を差し伸べるとき、必ず「掌」が出てきます。

誰にでも「掌」を向けられるような支え合える仲間がいる、畿央大学もそのような大学であり続けたい、また畿央祭を皆一丸となって作り上げていきたい、という実行委員の思いが込められています。

畿央祭は多くの方々の協力なしには成り立ちません。畿央祭に関わってくださる全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、278名の実行委員が一丸となって頑張ります。

ぜひ、お越しください!!

第16回畿央祭実行委員会



授業日カレンダー

注：補講はふだんの授業曜日・時限に関わりなく6時限目や土曜日、祝日などに実施される場合があります。
注：休業日（日曜日・授業のない祝日）の事務取扱は行っておりません。
注：※印のついた日はキャンパスに入ることはできません。■は休講日

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 土	1 月 ② 履修登録変更ノ切	1 木 ⑥	1 土 ⑨	1 火 元日 ※	1 金 ⑮	1 金
2 日	2 火 ②	2 金 ⑥	2 日	2 水 ※	2 土 ⑯ 最	2 土
3 月	3 水 ② 前期成績・後期学納金振込票発送	3 土 ⑥ 授業日(文化の日)	3 月 ⑨	3 木 ※	3 日 終 大学院入試	3 日
4 火	4 木 ②	4 日 指定校・社会人入試 ※	4 火 ⑩	4 金	4 月 ⑰ 授	4 月
5 水	5 金 ③	5 月 ⑤	5 水 ⑩	5 土 ⑬	5 火 ⑰ 業	5 火
6 木	6 土 ③	6 火 補講日	6 木 ⑩	6 日	6 水 ⑱ 期	6 水
7 金	7 日	7 水 ⑦ 履修取消	7 金 ⑪	7 月 ⑬	7 木 ⑱ 開	7 木
8 土	8 月 体育の日	8 木 ⑦ 取消期間	8 土 ⑩	8 火 ⑬	8 金 ⑱	8 金
9 日	9 火 ③	9 金 ⑦	9 日 専攻科入試	9 水 ⑬	9 土	9 土
10 月	10 水 ③	10 土 公募推薦入試	10 月 ⑩	10 木 ⑬	10 日	10 日 一般入試
11 火	11 木 ③	11 日 公募推薦入試	11 火 ⑪	11 金 ⑭	11 月 追 再 開 講 記 念 日 (休 業 日)	11 月
12 水	12 金 ④	12 月 ⑥	12 水 ⑪	12 土 ⑭	12 火 試 期 間	12 火
13 木	13 土 ④	13 火 ⑦	13 木 ⑪	13 日	13 水 試 期 間	13 水
14 金	14 日 AO入試 ※	14 水 ⑧	14 金 ⑫	14 月 成人の日	14 木	14 木 卒 業 式 リ ハ ー サ ル
15 土	15 月 ③	15 木 ⑧	15 土 ⑪	15 火 ⑭	15 金	15 金 卒 業 式
16 日	16 火 ④	16 金 ⑧	16 日	16 水 ⑭	16 土	16 土
17 月	17 水 ④ 敬老の日	17 土 ⑦	17 月 ⑪	17 木 ⑭	17 日	17 日
18 火	18 木 ④	18 日 公募推薦入試	18 火 ⑫	18 金 休 講 日 (試 験 会 場 設 置)	18 月	18 月
19 水	19 金 専 業 準 備 後 期 学 納 金 振 込 票 入 期 日	19 月 ⑦	19 水 ⑫	19 土 大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ※	19 火 一 般 入 試	19 火
20 木	20 土 畿 央 祭	20 火 ⑧	20 木 ⑫	20 日 大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ※	20 水	20 水
21 金	① 授 業 開 始	21 日 畿 央 祭	21 金 ⑬	21 月 ⑭	21 木	21 木 春 分 の 日
22 土	①	22 月 グ ー ン チ ャ ン ペ ー ン 補 講 日 (午 後)	22 土 補 講 日	22 日 一 般 入 試	22 金	22 金 後 期 成 績 ・ 次 年 度 前 期 学 納 金 振 込 票 発 送
23 日	AD 大 学 院 入 試 (秋 分 の 日) ※	23 火 ⑤	23 金 ⑨ 授 業 日 (勤 労 感 謝 の 日)	23 日 天 皇 誕 生 日	23 水 一 般 入 試	23 土
24 月	① 授 業 日 (振 替 休 日)	24 水 ⑤	24 土 ⑧	24 月 ⑩ 授 業 日 (振 替 休 日)	24 木 補 講 日	24 日
25 火	①	25 木 ⑤	25 日	25 火 補 講 日	25 金 一 般 入 試	25 月
26 水	①	26 金 ⑤	26 月 ⑧	26 水 補 講 日	26 土 ⑮	26 火
27 木	① 前 期 卒 業 式	27 土 ⑤	27 火 ⑨	27 木	27 日 最 終 授 業	27 水
28 金	②	28 日	28 水 ⑨	28 金	28 月 ⑮ 業 期 間	28 木
29 土	②	29 月 ④	29 木 ⑨	29 土 ※	29 火 ⑮ 業 期 間	29 金
30 日		30 火 ⑥	30 金 ⑩	30 日 ※	30 水 ⑮ 業 期 間	30 土
		31 水 ⑥		31 日 ※	31 木 ⑮	31 日

大学での授業は、前期・後期各15回行われます。①～⑯は授業曜日ごとの授業週数を表わしています。⑮⑯週の最終授業期間は、定期試験、平常授業、補講が組まれます。ふだんの時間割と異なることもありますので、この期間の時間割は、前期は7月中旬、後期は1月中旬までに掲示します。

冬木学園への ご支援のお願い

冬木学園では、教育・研究環境の整備及び基金の充実を目的とする募金へのご協力を広く皆様方をお願いをしております。

本学園の取り組みをご理解いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◎ 税額控除の適用について

平成24年度より本学園は、寄付税額控除制度の適用を受けることのできる学校法人として文部科学大臣より証明されています。個人の方が支出した寄付金について、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下により算出された額が所得税額から控除されます。

$$(\text{税額控除対象寄付金}(\text{※1}) - 2,000\text{円}) \times 40\% \\ = \text{控除対象額}(\text{※2})$$

※1 総所得額の40%まで

※2 所得税額の25%まで

◎ 寄付のお申込方法

法人事務局総務部(担当：植村・竹本)にお問い合わせ下さい。

TEL：0745-54-1602

E-mail：soumu@kio.ac.jp

